

# 解 答 速 報

## 久留米大学医学部（後期） 英語

2022年3月8日実施

1	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.				
	(a)	(a)	(d)	(d)	(b)	(b)	(c)	(a)				
2	1.	2.										
	(d)	(b)										
3	(1)			(2)			(3)			(4)		
	1	3	6	1	3	6	1	3	6	1	3	6
	(d)	(a)	(e)	(b)	(f)	(e)	(f)	(e)	(d)	(c)	(f)	(d)
4	1.							2.				
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)					
	(b)	(a)	(b)	(a)	(c)	(a)	(a)	(d)	(e)	(h)		
5	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.					
	(d)	(c)	(a)	(d)	(b)	(c)	(b)					
6	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.				
	(d)	(d)	(g)	(a)	(f)	(h)	(g)	(h)				

<解説>

1

- (a) We have been prepared for our performance at that theater for months, so we are now feeling **(cautiously)** optimistic that it will turn out well.  
 「私たちは数ヶ月間ずっとその劇場での上演に向けて準備をしてきたため、今は上演が上手くいくだろうと用心しながらも楽観視している」
- (a) Wildlife reserves in East Africa attract many tourists to see lions and leopards. Managers of such parks are in favor of these bigger **(predatory)** cats rather than smaller ones for commercial reasons.  
 「東アフリカの野生動物保護区には多くの観光客がライオンやヒョウを見るために訪れる。その保護区の管理人は、商業上の理由から、小型ではなくネコ科大型肉食獣を好んでいる」
- (d) A supermoon is a phenomenon, which occurs when the moon approaches closest to Earth in its orbit. When such a case **(coincides)** with a lunar eclipse, the moon looks slightly larger and has a reddish color, known as a super blood moon.  
 「スーパームーンとは、月が軌道上で地球に最接近する際に生じる現象である。その現象が月食と偶然重なると、月は少し大きく見えて赤色を帯び、これはスーパーブラッドムーンとして知られている」

<< 模試・講座のご案内 >>

医学部進学予備校 **メビオ** では **春期講習** を実施します

医学部受験相談会も好評実施中 ※いずれも詳細は最終面をご確認ください

4. (d) My face can be prone to excessive (**perspiration**) in a hot and humid summer, which can be very embarrassing in public places. These disposable paper wet facial towels come in handy when I have to see my clients.  
 「私の顔は暑くて湿度の高い夏だと過度に**発汗**しやすいのだが、公共の場だとそれはとても恥ずかしいことにもなりかねない。顧客に会わなければならない場合、この使い捨てペーパーウェットフェイスタオルは役に立つ」
5. (b) These four functions, all of them extensively confirmed in animal experimentation and human clinical work, make it the most valuable ally the (**cardiologist**) has yet found in the treatment of heart disease.  
 「これらの4つの機能はいずれも動物実験や人間を対象とした臨床研究において広く確認されているのだが、そのおかげでそれが心臓病治療において**心臓病専門医**がこれまで発見した中で最も価値のある道具となっている」
6. (b) Diabetes drugs that promote the release of insulin from the pancreas can in many cases cause side effects because of the actions on organs, such as the brain and the heart. Doctors are advised to pay special attention to (**prescribing**) such medication for their patients.  
 「膵臓からのインスリンの分泌を促す糖尿病治療薬は、脳や心臓などの器官に対して作用するため、多くの場合副作用を引き起こす。医師は患者にそのような薬品を**処方する**にあたって特別注意を払うよう奨励されている」
7. (c) If IT outsourcing risks have you concerned, try to find a happy (**medium**) that allows you to concentrate on pressing business matters without sacrificing the visibility needed to monitor and manage the customer experience.  
 「もしITアウトソーシングのリスクが心配なら、顧客体験を観察し管理するために必要な可視性を犠牲にすることなく差し迫ったビジネス案件に集中することができるような素晴らしい**手段**を見つけなさい」
8. (a) As the struggle for survival is fierce in the wild, some snakes, spiders, and jellyfishes utilize a particularly potent (**venom**) for their own protection from external attack by enemies. Conversely, they also employ it to overwhelm prey.  
 「野生では生存競争が熾烈であるため、一部のヘビやクモ、クラゲは外敵による攻撃から自らの身を守るために極めて強力な**毒**を利用する。一方で、それらは獲物を仕留めるために毒を利用することもある」

2

1. 本パラグラフの主題は「温暖化が穴釣りに及ぼす影響」である。(b)の“many dozens of northern lakes”を(c)の“That number”が指していると考えられるため、この2つは必要だとわかる。(a)と(d)で迷うところだが、(b)(c)で書かれているのは「温暖化が進行すると氷がなくなっていく」という趣旨であり、本来ならば多くの人々に影響するものである。したがって、(d)の「これは関係者にとっては問題にはならないはずだ」という内容は不適切であるといえる。

<全訳> 毎年冬になると、多くの穴釣り師が凍った湖に足を運ぶ。氷に穴を開け、針にエサをつけて極寒の水の中に投げ入れる。(a)穴釣り師は皆美味しい夕食にありつきたいと願っている。(b)しかし、わずか10年以内に、北部の湖の多くは冬の間ずっと凍結しなくなる可能性がある。(c)そこからさらに70年以内にその数は数千にまで跳ね上がる恐れがある。そして仮にそれが起こったとしても、その影響を受けるものの中にあっては、穴釣り師など取るに足らないだろう。

(削除文) (c)これは関係者にとっては問題にはならないはずだ。

2. 本パラグラフの主題は「WFTOが定める規則によってフェアトレード認証を受けた製品がもたらす効果」である。(a)は「製品が規則に適合するために必要な事柄」、(c)は「規則の目的」、(d)は「将来の展望」についてそれぞれ書かれている。(b)の「世界の舞台では基準が満たされることはほとんどないため、規則

は守られない可能性が常にある」という内容は、選択肢のうち唯一 WFTO の規則を否定的に捉えたものであり、これが不要文であると判断できる。

<全訳> 世界フェアトレード連盟(WFTO)は、製品が一連の特定の基準を満たすと フェアトレード製品とみなされる。(a)「フェアトレード」の認証を受けるにあたり、例えばコーヒーやチョコレートは特定の規則に沿った栽培、収穫、加工、流通が求められる。(c)これらの規則は、生産者が製品の公正価格を得ること、子供が搾取されないこと、収益の一部が地域社会の利益になることを確実にするように設計されている。(d)この活動の未来は、活動が拡大した後もその規則の根底にある原理に忠実であり続けられるかどうかにかかっている。

(削除文)(b) 世界の舞台では基準が満たされることは稀であるため、規則の抜け穴をつかれる可能性が常にある。

3

(1) ( d ) ( b ) ( a ) ( f ) ( c ) ( e )

Thanks to **(new technologies and an extremely rare set of fossils, scientists)** can now show that trilobites breathed oxygen and **explain how they did so**.

「新しい技術と非常に珍しい化石により、科学者たちは三葉虫が酸素呼吸を行っていたことを明らかにし、それをどのように行っていたかを説明することができる」

第2段落第3文で“~ but our paper shows, for the first time, that the upper branch functioned as a gill, ~” 「~しかし上肢部がエラの機能を果たしていることを示したのは私たちの論文が初めてなのです」とあり、その内容を踏まえると、冒頭の Thanks to の後には、「明らかにすることに寄与したもの」である(d)に含まれる名詞 new technologies と(b) an extremely rare set が等位接続詞の and で結ばれて続き、さらに“a set of ~” という表現を予想して、(a) of fossils, scientists をつなげる。その scientists が主文の S にあたると予想できるので、助動詞 can から始まる(f)を置くが、(f)に含まれる動詞 show の後の that は目的語の名詞節を導く接続詞と予想できるので、trilobites を that 節内の S と予想して、動詞 breathed から始まる(c)をつなげる。(c)中の and は動詞 show と(e)に含まれる動詞 explain を結んでおり、(e)に含まれる they が(c)に含まれる trilobites を指すと考えると意味内容が通る。

(2) ( b ) ( a ) ( f ) ( d ) ( c ) ( e )

A CT scanner **(was able to read the differences in density between the pyrite and the surrounding rock and help create three-dimensional models of these rarely seen gill structures)**.

「CT スキャナーは黄鉄鉱とその周りにある岩との密度の差を読み取ることができ、これらのめったに見ることができないエラ構造の 3D モデルを作るのに役立った」

設問直後の文に “It allowed the researchers to see the fossil without having to do a lot of drilling and grinding away at the rock covering the specimen.” 「それにより、研究者たちはその標本を覆っている岩にたくさん穴をあけたり砕いたりせずとも化石を確認することができた」とあり、その内容を踏まえると、It が指すと考えられる単数形の名詞 A CT scanner が文の S となりそれには動詞 was で始まる(b)が続く。(b)に含まれる定冠詞 the に続く名詞は(a)に含まれる differences と (d)に含まれる surrounding rock が考えられるが、(f)中の between ~の前に(a)の differences が必要なので、(a) differences in density が入る。そして(f)がそれに続き、(f)に含まれる the の後に (d) surrounding rock が続く。(d)に含まれる等位接続詞 and は(b)に含まれる動詞 read と(c)中の動詞 help を結んでおり、(c)に含まれる前置詞 of の後ろに、these から始まる名詞句(e)が続く。

- (3) ( f ) ( b ) ( e ) ( c ) ( a ) ( d )

Comparing the (specimens in pyrite to another trilobite species gave the team additional details about how the filaments were arranged relative to one another, and) to the legs.

「黄鉄鉱中の標本を他の三葉虫種と比較することで、フィラメントそれぞれの間の配置、またフィラメントと脚の配置に関して、そのチームはさらなる詳細な情報を得た」

冒頭の Comparing 以下を S とすると、対応する V は (e) に含まれる gave となる。(Comparing 以下を副詞要素(分詞構文)と想定した場合、続く主文の主語は (e) に含まれる the team になるはずだが、その直前にカンマがないため、この想定は成立しにくい。) 次に <comparing A to B> 「A を B と比較すること」を想定することにより、「the specimens in pyrite と another trilobite species を比較すること」が S となる。また、(c) に含まれる how の後ろに S'V' が続くことを考慮すると “additional details about how the filaments were arranged” とつながる。最後に、(d) に含まれる等位接続詞 and は to one another と to the legs をつないでいると想定することにより全体が完成する。

- (4) ( c ) ( a ) ( f ) ( b ) ( e ) ( d )

Roughly (540 million years ago, there was an explosive diversification in the variety and complexity of animals living in the oceans).

「およそ 5 億 4 千万年前、海洋に生息する動物の種類と複雑さが爆発的に多様化した」

冒頭の Roughly に続くのは数値であることが予想できるので、まず (c) を先頭に置くことになる。文の動詞としては、(a) に含まれる was しか見当たらないので、これがそのまま(c)に続く。(a)に含まれる不定冠詞 an に続く名詞、(b) variety and complexity、と(f) diversification in the が考えられるが、explosive という形容詞の意味から、diversification 「多様化」が妥当であると予想できる。これにより (c)-(a)-(f)-(b)まで完成する。残りは (e) of animals living、(d) in the oceans という順に並べればよい。

4

1.

- (1) (b) It is possible that it will also be accompanied with other symptoms, like asthma or hay (fever).

「ぜん息や花粉症のような他の症状も伴う可能性がある」

アトピー性皮膚炎に伴う他の症状の例が挙げられている。 hay fever 「花粉症」。

- (2) (a) The itch tends to be very (bothersome).

「かゆみはとても厄介になりがちだ」

アトピー性皮膚炎によるかゆみに対応する形容詞を選ぶ。 bothersome 「厄介な」。他の選択肢は、(b) awesome 「畏敬の念を起こさせる」、(c) longsome 「うんざりするほど長い」、(d) winsome 「愛嬌のある」である。

- (3) (b) Understandably, this makes it hard for children to concentrate or sit (still), often leading to reprimand at school.

「当然ながら、このせいで子供たちは集中力を保ち、じっと座っていることが難しく、結果として学校で叱られることも多い」

アトピー性皮膚炎による極度のかゆみによって、じっと座っていることが困難になると考える。still 「静止した、じっとしている」

- (4) (a) We know now that eczema is not (contagious) and that it is not a symptom of a troubled mind.

「アトピー性皮膚炎には伝染性がなく、精神疾患の症状でもないことを、現在私たちは知っている」

第3段落と空所(4)を含む第4段落は、過去と現在の対比となっている。第3段落第1, 2文に、“Eczema has long been misunderstood. For hundreds of years, people considered it to be transmittable, mistaking it for leprosy.” とあり、過去においてアトピー性皮膚炎は伝染性があると誤解されていたことがわかる。つまり、現在はその誤解が解け、伝染性がないことが知られていると考える。contagious 「伝染性のある」

- (5) (c) This spray was **(applied)** twice weekly for three months.

「このスプレーは3ヶ月間、週に2回吹きつけられた」

apply には「(薬など)を塗る、つける」という意味がある。This spray は前文中の“A solution with live *R. mucosa*” 「生きた *R. mucosa* を溶かした溶液」を指し、アトピー性皮膚炎治療のため使用が検討されている薬剤である。

- (6) (a) Furthermore, the research team **(claims)** that the bacteria lingered on the skin, ensuring a better balance of bacteria, and continuing to offer benefits even after the medication was stopped.

「さらに、研究チームの主張によれば、この細菌は皮膚に留まるため、細菌バランスの改善を確かなものにし、投薬を止めた後も効果を持続して及ぼした」

第7段落では実験結果が紹介されている。第2文では皮膚の保湿能力が大幅に改善したことが述べられ、それに続く第4文において空所が設けられている。同じく結果を述べている文であることは、冒頭の副詞 Furthermore によって明らかである。よって空所には claims を選べばよい。他の選択肢は、(b) repudiates 「拒絶する」、(c) rebuts 「反証する」、(d) recommends 「推奨する」である。

- (7) (a) **(Fortunately)**, having received the *R. mucosa* therapy, most of the children in the study saw significant changes in their skin and overall well-being.

「幸いなことに、*R. mucosa* 療法を受けたほとんどの子供たちの皮膚と健康状態全般に大きな変化が見られた」

空所を含む1文の後半で、アトピー性皮膚炎に対する新しい治療法の治験対象となった子供たちに、実際の改善が見られたことが確認できる。よって空所には Fortunately を選べばよい。他の選択肢は、(b) Alternatively 「代わりに」、(c) Strangely 「奇妙なことに」、(d) Necessarily 「必然的に」である。

2.

- (d) **For a long time, eczema was misdiagnosed as a psychiatric malaise.**

「長い間、アトピー性皮膚炎は精神疾患と間違っ診断されていた」

第3段落第3、4文が根拠となる。それらのおよその意味は「1903年、フランスの皮膚科医ルイ-アン-ジャン・ブロックは、この病気が患者の神経に関係していると断定した。その結果、前世紀の長い間、医師たちはアトピー性皮膚炎を精神疾患の一症状であるとみなしていた」である。

- (e) **Eczema disturbs young children’s lives in a number of different ways.**

「アトピー性皮膚炎は数多くの様々な点で幼い子どもの生活を乱す」

第2段落第5、6文が根拠となる。それらのおよその意味は「当然ながら、このせいで子供たちは集中力を保ち、じっと座っていることが難しく、結果として学校で叱られることも多い。また、それは子供たちの睡眠を妨げ、彼らはイライラしたり健康状態が悪くなったりする」である。

- (h) **This new treatment seeks to improve the balance of bacteria on the skin.**

「この新しい治療法は皮膚上の細菌バランスを改善することを目指している」

まず、アトピー性皮膚炎の患者において、皮膚における細菌バランスが通常とは異なることが第4段落第3文で述べられている。その1文のおよその意味は「実際、アトピー性皮膚炎を患う人々は、健康な皮膚をもつ人々とは細菌バランスが異なることが多いことが分かっている」である。その上で、直接解答の根拠となるのは第5段落第1文である。その1文のおよその意味は「このバランスを改善する方法を考えた結果、米国の研究者たちは、ある種のアトピー性皮膚炎治療法として生きた細菌を使用することを調査した」である。

5

## 1. (d) Surgery was an unpopular means of improving one's health.

問題文は「3世紀以前の中国について当てはまるのはどれか」である。

第1段落第2～4文が根拠となる。その1文のおよその意味は「手術が倫理に反するとみなす者もいた。目覚めている間に切開される痛みを耐えるくらいなら、けがや病気で死んだほうがましだと本気で考える者もいた。また、当時手術はほとんどの場合未熟な医療助手によって行われており、彼らの技術のせいで患者は自分が生還できるとはほとんど思っていなかった」である。これにより、(d)「手術は健康状態を改善させるのに評判の悪い手段であった」が正解とわかる。

## 2. (c) physician's aides

問題文は「華佗(Hua Tuo)の時代において、一般に手術を行っていたのは誰か」である。

第1段落第4文が根拠となる。その1文のおよその意味は「また、当時手術はほとんどの場合未熟な医療助手によって行われており、彼らの技術のせいで患者は自分が生還できるとはほとんど思っていなかった」である。これにより、(c)「医者助手」が正解とわかる。

## 3. (a) He was moved by the condition of the wounded in war.

問題文は「与えられた選択肢の中で、華佗(Hua Tuo)が手術に関心を持つようになった理由はどれか」である。

第2段落第2文に、“It was a violent time period, **and it is thought that he first became interested in surgery as a result of trying to assist fallen soldiers in battle.**” 「当時は争乱の時代であり、彼が最初に手術に関心を持ったのは、戦場で倒れた兵士を助けようとしてからであった」とある。これにより、(a)「彼は戦争で負傷した人々の容態を見て突き動かされた」が正解とわかる。

## 4. (d) flush

問題文は「本文中の下線部で、‘cleanse’ という語の意味に最も近いのは次のうちどれか」である。

“cleanse” とは「洗浄する」という意味である。下線部 “With it, he conducted a wide range of operations to **flush out** the abdominal cavity, to extract diseased or damaged tissue, and to resect the intestine.” のおよその意味は「それ(麻沸散と呼ばれる麻酔)により、彼は腹腔を洗浄したり、病気になった組織や損傷した組織を摘出したり、腸を切除したりした」である。これにより、(d) flush 「洗浄する」が正解とわかる。

## 5. (b) It is a substance used to inhibit sensitivity to pain.

問題文は、「本文から読み取れる内容からすると、anaesthetic の意味は何か」である。

本文中に anaesthetic (mafeisan 麻沸散)の語は頻繁に出てくるが、その意味内容を考えるうえで特に注目したいのは第6段落である。第1文に「歴史家と科学者は anaesthetic の成分について不思議に思っている」とあり、続く第5文に「しかし、ある歴史家は mafeisan (麻沸散)の言葉は、アヘンから作られるモルヒネという語と関係があると考えている」と書かれている。鎮痛剤としてのモルヒネの言葉は聞いたことがあるだろう。ここから mafeisan すなわち anaesthetic は痛みを和らげるための薬であると予想できる。手術において痛みを和らげる役割をするのは「麻酔」である。

また、そもそも第1段落第3文で「目覚めている間に切開される痛みを耐えるくらいなら、～」と述べられていることも推測の手がかりとなるだろう。痛みを耐えて手術を受けたがらなかった人々が多かった状況で、安心して手術を受けられるようにしたのが華佗(Hua Tuo)であるので、anaesthetic は何かしら痛みを抑えることに関わる物質であると予想できる。よって、(b)「それは痛みに対する感度を抑えるために使われる物質である」が正解とわかる。

## 6. (c) The king did not trust his intention behind the operation and had him imprisoned and killed.

問題文は、「華佗(Hua Tuo)の最期について知られていることは何か」である。

解答の根拠は、第4段落最終文である。この段落の第3文までで、華佗(Hua Tuo)が魏王の典医となったあと、頭痛とめまいの症状を訴える王に、王妃の賛同を得て頭蓋手術を勧めるが、王はそもそも手術に懐疑的で、華佗(Hua Tuo)が暗殺を企んでいるのではないかと疑っていた旨が書かれている。そして最

終文で、「(王は) 激怒して、華佗を投獄して処刑した」とある。このことから、(c)「王は、手術の背景にある彼の意図を信用せず、彼を投獄し殺した」が正解とわかる。

7. **(b) His wife believed it would cause more harm than good in others' hands.**

問題文は、「華佗(Hua Tuo)の草稿が燃やされた理由に関して、妥当な理由として言及されていないものはどれか」である。

このことに関して推測された内容が書かれているのは、第5段落第3, 4文、及び第7段落第1文である。第5段落第4文では、「華佗(Hua Tuo)は、それを妻に焼却させて、自分の麻酔に関する知識を他人が手に入れられないようにしたかった」とある。これと(b)「彼の妻は、それが他人の手に渡ると、利益よりも害悪をもたらすであろうと思った」は矛盾する。理由は、麻酔に関する知識を他人の手に渡らないようにしたかったのは華佗(Hua Tuo)本人であり、妻ではないからである。これにより、正解は(b)とわかる。(d)「よくある慣習なのだが、彼の看守が彼の持ち物をすべて捨てた」は、第5段落第3文に「看守が単に囚人の持ち物をすべて燃やしただけである」と考える人もいる」とあり、これに合致するため正解にならない。また第7段落第1文に「華佗(Hua Tuo)は、自分の名を守るためか、あるいは、当時の他の医者能力や意図を疑っていたからかのどちらかの理由で、自分の知識を守ったということはおそらくあるだろう」とある。これと(a)「華佗(Hua Tuo)は、死後自分の名誉を守るためそれを捨てたかった」は合致する。また(c)「華佗(Hua Tuo)は、自分が得た知識が間違った使われ方をすることを心配していた」もこれと合致する。「当時の他の医者能力や意図を疑っていた」からこそ自分の知識は乱用されると恐れていたと予想することができるためである。

6

1. **(d) Really? Is this the first time for you guys here? (How are you two enjoying your stay here in) Kyushu?**

最後に Kyushu があることから、第三項にある前置詞としては in が妥当であり、(イ)を選ぶ。第一項については、(イ)であれば後に名詞が必要だが、第二項に名詞は見当たらない。よって第一項は(ア)、さらにその中に are という be 動詞があることから第二項は(イ)とわかる。“you two”「きみたち二人」という表現を思いつけるかどうか重要。

2. **(d) Oh, no! Isn't it your bicycle lock? Cut in two! I am (afraid someone has taken your bike).**

第二項の両方の選択肢から第三項の主語は someone とわかる。そうすれば、前文の内容から第三項は(イ)だとわかる。(ア)だと意味が通じない。続いて、第二項を考えるが、(ア)の interrupt は目的語に that 節を取らないため、正解は(イ)とわかる。最後に第一項だが、第二項と第三項の組み合わせから、後ろに文が続いているので、(イ)の to は使えない。よって第一項は(ア)とわかる。

3. **(g) The soccer match we were watching last night was amazing. Near the end, when (our team finally scored a goal, we were all just ecstatic.).**

第一項(ア)にある determine a goal は「目標を定める」という意味である。「ゴールを決める」は(イ)の“score a goal”である。ゆえに第一項は(イ)だとわかる。続いて、第二項だが、(ア)にある raise は他動詞なので目的語が必要である。よって、この項は(イ)だとわかる。最後に第三項だが、(イ)にある“high tension”は日本語の「ハイテンション」とは意味が異なる。英語において tension は「緊張」を意味する。ゆえにここではおかしい。なので、第三項では(ア)の ecstatic 「非常に興奮した」を選ぶ。

4. **(a) I have no plans to go on holidays anywhere soon, but (I am due to go on a business trip to Nagoya in two months).**

第一項は due の用法を問うている。それぞれ、(ア)の <be due to do ~> は「～することになっている」、(イ)の <pay one's dues> は「会費を払う」という意味である。前文の内容から、(ア)が正しいと判断できる。また第二項では、“go on a business trip”で「出張する」と分かれば、これが正解だと選択できる。第三項は前置詞 in に「～後に」という意味があるということを知っていれば、(ア)を選択できる。

5. (f) At the hamburger restaurant, as we were joining the queue, we were **(told we would need to find a table before purchasing our meals)**.

第一項(ア)の *said* を使うのであれば、<S is said to do ~> 「Sは~すると言われている」という形になるため、(ア)は誤りとわかる。第三項の各選択肢から第二項につながるものを考えると、第二項(ア)、第三項(イ)とすべきことがわかる。なお「席を探す」という場合 *find a chair* ではなく、*find a seat* と表現する。

6. (h) Their father was a heavy smoker and a drinker, and they **(were worried he would one day fall ill)**.

第一項では、感情を表す動詞の使い方を問われている。感情を表す動詞は人が主語の時は受動関係になる。ゆえに、(イ)を選択すべきことがわかる。続いて、第三項をみる。内容から「病気になる」という表現を選ぶのだが、“become illness” という表現はおかしい(*become ill* なら正しい)。ゆえに(イ)の“fall ill”を選ぶ。*fall* には自動詞で「~になる」という意味がある。最後に、第二項であるが、内容から「いつか病気になると心配していた」と作りたいと考えられるので、(イ)の“one day”を選択する。

7. (g) It was a difficult time for the company, and there was a rumor **(that they might lay off quite a number of their employees)**.

直前の“a rumor”から第一項は同格の接続詞 *that* のある選択肢(イ)を選ぶ。続いて、第二項であるが、*quite* の位置を問うている。不定冠詞 *a* の前に *quite* を置くということ覚えておけば、(イ)が妥当だとわかる。最後の第三項であるが、単に *employee* 「従業員」と *employer* 「雇い主」の意味をきちんと覚えているかどうかを問うているだけである。内容から(ア)が妥当だとわかる。

8. (h) I obviously intend to **(make every effort to promote our products, including)** the imported ones.

第一項と第二項は、<make an effort to do ~> 「~するよう努力する」という表現を覚えていればすぐに両者ともに(イ)を選択すべきことがわかる。第三項は、<including ~> 「~を含めて」という例示の表現を問うている。



講評

- ① [文法四択] (やや難) 選択肢の語彙レベルが高く、正解の判断に迷う問題が一部含まれている。
- ② [不要文排除] (やや難) 旧センター試験大問 3A と同形式。難解な語彙も含まれ、文のつながりを正確に把握できないと判断の根拠に迷うところもある。
- ③ [文中語句整序] (やや難) 「三葉虫が脚で呼吸をしていた新事実」に関する英文。設問の前後の文章内容を踏まえれば、品詞と文構造を意識することにより正解を導くことのできる設問が多い。
- ④ [長文総合] (標準) 「湿疹の病因究明の歴史と新しい治療法」に関する英文。求められる医学用語の知識がこれまでより多いものの、設問で問われている知識は標準的で、ある程度医学系長文を読み慣れていれば十分対処できる。
- ⑤ [長文内容一致] (やや易) 「古代中国で麻酔を発明した医師の生涯」に関する英文。一部判断に迷う選択肢もあるが、全体として正解を絞るやすい。
- ⑥ [英文完成] (標準) 昨年度後期入試に続き出題。旧センター試験大問 2C と同形式。一部判断に迷う設問も含まれるが、文法・語法の基本知識で正解を絞ることができる。

昨年度後期と大問内容・形式は同様だが、大問毎に若干の難易度の変化があり、取り組み易い設問を取りこぼさないことが重要。目標は 70%

本解答速報の内容に関するお問合せは

医学部進学予備校 **メビオ**

☎ 0120-146-156 受付 9:00~21:00(土日祝可)  
 大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋  
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **YMS** ☎ 03-3370-0410  
<https://yms.ne.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215  
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



友だち追加で全科目を閲覧!  
**LINE 公式アカウント**

◀ メビオの友だち登録はこちらから

苦手も得意も今から伸ばす!

# 春期講習

早めに学習の基礎を固めて、今後の成績を底上げしておきましょう!

第1期 3/20 (日) 開講  
 第2期 3/27 (日) 開講

2泊3日無料体験

寮の宿泊・食堂利用・メビオの2泊3日分無料体験をご用意しました!

オンラインクラスも同時開講!

# 医学部受験相談会

/2022/

〈好評開催中〉  
 大阪/京都/名古屋/広島

医学部を目指すみなさまへ

長年にわたって医学部受験を指導している現役講師が壇上に立ち、医学部入試についての詳細な分析をお伝えします。入試にまつわる悩みや学習のご相談にもお答えします。

各会場では無料体験授業も実施(参加自由)

春期講習のお申し込み、説明会日程の確認・ご予約はお電話、HP、QRコードから承ります

